

「JAXA 宇宙科学研究所の大学共同利用連携拠点プログラム」 に神戸大学が採択

理学研究科 惑星学専攻

荒川政彦

神戸大学大学院理学研究科附属惑星科学研究センター(Center for Planetary Science: CPS)は、国内外に開かれた惑星科学の学術拠点として 2007 年 4 月に誕生しました。この CPS は、大学や機関および国の枠を超えた人材育成や研究活動を支援し、惑星科学の様々な領域から研究者が集い、知見情報が集積される場を作ってきました。CPS は、このような活動に加えて、この度、JAXA/宇宙科学研究所の大学共同利用連携拠点として太陽系探査科学の発展に貢献することになりました。

大学共同利用システムによる宇宙科学研究を推進する中核機関として JAXA/宇宙科学研究所は、双方向連携強化による共同利用・共同研究の一層の充実に向け、2010 年度より大学共同利用連携拠点をパイロットプログラムの 2 拠点(京都大学、名古屋大学)を立ち上げてきました。今回は更にこれを拡充することとなり、神戸大学の提案が採択に至りました。神戸大学では、惑星科学研究センターが中核となって、理工連携による太陽系探査科学に関するプログラムの策定に寄与し、宇宙科学探査 ”ロードマップ” の具体化にサイエンスの面から貢献する拠点となることを目指します。

惑星科学研究センターは、このプログラムを実施するために宇宙科学研究所の大学共同利用連携拠点として活動いたします。採択内容は下記通りです。

採択課題名：大学共同利用連携拠点

採択期間：4 年（審査により 2 年間の延長が可能）

採択金額：年間 1700 万円＋一般管理費

ほぼ同額を神戸大学から支給予定

その活動内容は、まず、(1) 太陽系探査ミッション創出のために、ミッションの科学目的の先鋭化を宇宙科学研究所の連携研究者や宇宙・惑星科学コミュニティの研究者とともに推進します。次に、(2) 探査を牽引する人材育成のために惑星探査の立案過程を実地に訓練する場として、探査ミッション立案スクーリングを実施いたします。

神戸大学ではすでに「はやぶさ 2」小惑星探査の宇宙衝突実験や「あかつき」金星探査において、惑星探査の一躍を担っていますが、今後は、さらに宇宙科学研究所との連携により太陽系探査科学の拠点として研究・教育を推進して行きたいと考えています。

問い合わせ先

- 理学研究科惑星学専攻 教授 荒川政彦（あらかわまさひこ）
masahiko.arakawa@penguin.kobe-u.ac.jp ☎ 078-803-6684, 090-6268-8029（携帯）
- 理学研究科付属惑星科学研究センター
inquiries@cps-jp.org ☎ 078-599-6730

惑星科学研究センター: JAXA/宇宙科学研究所 の大学共同利用連携拠点

採択内容

採択課題名: 大学共同利用連携拠点

採択期間: 4年(審査により2年間の延長が可能)

採択金額: 年間1700万円+一般管理費

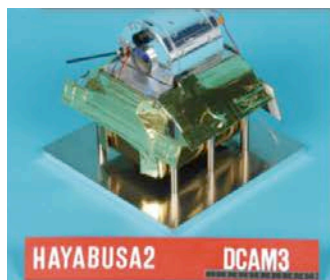
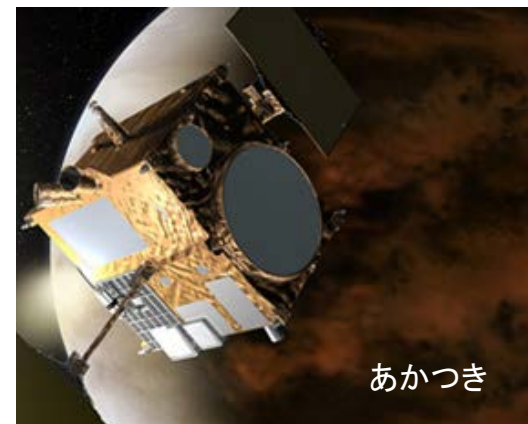
ほぼ同額を神戸大学から支給予定

連携による活動項目:

1. 太陽系探査計画立案のための科学検討会の企画
2. 探査を牽引する人材育成

太陽系探査への神戸大学の貢献:

1. 「はやぶさ2」小惑星探査の宇宙衝突実験の科学検討と分離カメラの運用
2. 「あかつき」金星探査のデータ利用環境の構築とシミュレーション



惑星大気大規模シミュレーション

HPCI/京コンピュータ

- ・原始惑星、火星、金星、系外惑星シミュレーションに向けた dcmode1 汎惑星大気モデル群の開発

